

平成 28 年 6 月 27 日

報道関係各位

(一社)建設コンサルタンツ協会

総務部会長 永治 泰司

総務委員会委員長 永田 芳久

業界展望を考える若手技術者の会代表 伊藤 昌明

建コン協会、土木学会の若手技術者のコラボ企画 『土木の将来を語る・交流会』を開催

このたび平成 28 年 6 月 24 日（金）に、（一社）建設コンサルタンツ協会本部の「業界展望を考える若手技術者の会（代表：伊藤昌明）」と、（公社）土木学会建設マネジメント委員会の「将来ビジョン特別小委員会（委員長：秀島喬博）」の若手技術者同士が『土木の将来を語る・交流会』を開催しました（参加者 24 人）。なお、このような建コン協会と土木学会の若手委員会同士が交流会を開催することは今回が初となります。

業界展望を考える若手技術者の会は、2015 年 4 月に設置され、これまでに建コン協会の北陸支部、関東支部、九州支部の若手組織と意見交換会を開催し、若手共通の思いを「若手が描く建コンビジョン」に反映するための活動を進めているところです。一方、将来ビジョン特別小委員会は、2012 年 7 月に設置され、産官学のメンバーで 30 年後の土木将来ビジョンを定めました。そして、書籍「未来は土木がつくる。これが私の土木スタイル！（土木学会出版／2015 年 5 月）」にまとめています。

この 2 つの委員会は、「土木の将来を担う若手技術者自身が、自らの手で業界の将来ビジョンを描き、行動していく」という共通の思いのもと活動していることもあり、今回の交流会で、それぞれの将来ビジョンを報告し合い、『土木の将来を語る』を共通テーマに意見交換をしました。

参加メンバーからは、「建コンもゼネコンも抱えている問題や思いは共通。土木は一つであることを再確認した」、「担い手確保のためには、学生と年代の近い若手自身が土木という職業の魅力を伝えることが効果的」、「業界を変えていこうとする若手活動をしている団体は多いので連携していくことが重要」などの意見が出されました。会の最後には、若手一丸となって土木業界を活性化する一大ムーブメントを起こしていくことを確認しました。

今回の交流会で出された意見は、双方持ち帰り、それぞれで策定する将来ビジョンをブラッシュアップしていく予定です。あわせて、今後も定期的に交流の機会を設けていく予定です。

なお、こうした活動の様子は、Facebook「建コン 4.01（ケンコン・フォース）」で紹介していますので、ご参照ください。

【問い合わせ窓口】

（一社）建設コンサルタンツ協会事務局 （担当：梅原、神田）

〒102-0075 東京都千代田区三番町一番地 KY 三番町ビル

電話：03-3239-7992 ／ FAX：03-3239-1869

E-mail info@jcca.or.jp

【「土木の将来を語る」交流会の様子】

